

実践記録（小2・生活）

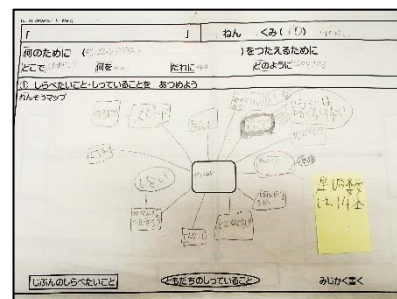
1 ねらい

身近にいる生き物のダンゴムシについてのクイズを作るために、飼い方やひみつなどの調べたいことを決めて飼育し、観察箱や図書を使って情報を集め、取捨選択し、適した情報を基にクイズを作って発表することができるようにする。

2 手立て

- 情報の収集するための連想マップの活用

情報を効率的に集めるために、検索の視点を作るための連想マップを使用する。マップには、自分の知っていること・知りたいこと・友達の知っていることを配し、検索の視点（自分が調べたいこと）を決めて、効率的に情報を収集するための目的を決めさせるようにする。



【資料1】連想マップ

- 情報の整理分析のための2次元マトリックスの活用

集めた情報を整理分析させるために、2次元マトリックス表を使用する。横軸（目的）と縦軸（対象）とし、右上に集まった情報がより効果的であると考え、取捨選択させるようにする。

3 実践の様子

調べることを焦点化するため、自分が調べたいことと、友達が知っていることを連想マップに書き入れた。【資料1】そこから、特に調べたいことに赤丸を付け、情報の収集に入った。収集の時間には、観察ケースをグループの中央に置き、観察したり、図書で調べたりした。【資料2】検索の視点（調べたいこと）があらかじめ決めてあったので、ダンゴムシの様子に夢中になる様子はなく、それぞれが調べる目的をもって、観察や本での収集活動に集中していた。次に、集めた情報を、2次元マトリックス表によって、整理分析した。2年生にできる限り分かりやすい言葉で整理・分析させるために、横軸（目的）を「おお（納得）、ふうん（納得しない）」、縦軸（対象）を「年上の人（向け）、年下の人（向け）」とした。集めた付箋紙は、その場で2次元マトリックス表に整理していき、右上に当たる部分が、「クイズに使える情報だよ」と確認すると、「これは、ぜったいおお！だよ」「先生、ダンゴムシは8mmだったよ」と情報を集めたり、整理したりと進んで行く児童が多かった。【資料3】最後のクイズ大会で児童は、身近なダンゴムシにも新しい発見をして表現豊かにクイズを発表し合っていた。



【資料2】調べる様子



【資料3】整理分析後の表

4 成果と課題

- 「連想マップ」で調べたいことを広げ、検索の視点を明確にしたことで、より効率的に情報を集めることができた。
- 2次元マトリックス表に情報を整理するための座標が理解しづらいところがあった。具体的なイメージをもたせるようにしたい。